

様式第 1 号（第 7 条関係）

静岡市お茶ツーリズム体験プログラム高付加価値化補助金交付申請書

提出日（申請日）を記載

令和 8 年 10 月 14 日

（宛先） 静岡市長

住所 〒000-0000 静岡市〇区〇

〇〇農園

申請者 氏名 静岡 太郎

電話 000-000-0000

・法人の場合は、役職を記載（代表者が申請をすること）
・個人事業主の場合は役職等の記載不要

補助金の交付を受けたいので、静岡市お茶ツーリズム体験プログラム高付加価値化補助金交付要綱第 7 条の規定により、次のとおり関係書類を添えて申請します。

事業名を記載

1 事業の名称 観光客受入に向けた環境整備及び体験の高付加価値化事業

2 交付申請額 500,000 円

様式第 3 号収支予算書中、「1 収入の部」中、「市補助金」の額を記載

3 事業の概要 トイレの改修（洋式化）、及びおもてなしに使用する茶器等を購入することで、体験の高付加価値化及び快適な受入環境整備を行う。

4 添付書類

- （1）事業計画書（様式第 2 号）
- （2）収支予算書（様式第 3 号）
- （3）必要な金額がわかる見積書等
- （4）事業実施場所説明図（様式第 4 号）
- （5）誓約書（様式第 5 号）
- （6）定款、規約等（法人及び組合その他の者で組織する団体の場合に限る。）
- （7）団体構成員名簿（法人及び組合その他の者で組織する団体の場合に限る。）
- （8）暴力団排除に関する誓約書兼同意書（様式第 6 号）
- （9）前各号に掲げるもののほか、市長が必要があると認める書類

プログラムの内容ではなく、購入物や工事の内容等が分かるように記載

【参考：記載例】

茶農家（補助率 2/3）が総事業費 765,363 円（税抜）
（補助金 50 万円）の申請をする場合

様式第 2 号（第 7 条、第 10 条関係）

事業計画書の場合は、（変更事業計画書）
の記載を削除

事業計画書 ~~（変更事業計画書）~~

1 屋号/法人名	〇〇農園
2 業種	☒ 茶農家 ☐ 製茶業者
3 お茶ツーリズム観光プログラムの提供	☐ 既に提供している ☒ 今後提供予定 (2026 年〇月～)
4 本補助金の利用目的	< 目的の分類（複数選択可能） > ☒ プログラムの高付加価値化 ☒ 観光客の満足度向上 ☐ その他（
5 現在の課題（詳細）	(例) ・観光客から体験プログラムの提供を求める声があるが、提供場所が自宅であるため、受入に利用する施設整備や備品が不足している。 ・インバウンドを受入れるにあたり、自宅の家庭用和式トイレを使用しているため、インバウンドや高齢の観光客の使用が難しい。 ・提供場所が自宅であるため、安定的に大人数を受入するために必要な茶器が足りていない。 ・英語やその他の言語を話すことが出来ないため、インバウンドに対してお茶の説明を伝えることが出来ない。
6 本補助事業の実施内容（詳細）	(例) ・課題となっている和式トイレの洋式化を行い、インバウンドや高齢の観光客を含めた受入環境を整備する。 ・プログラム提供に使用する茶器等を購入する。プロ

現在発生している課題をできるだけ詳細に記載

本補助事業で実施する内容をできるだけ詳細に記載
(提供する体験プログラムの内容ではなく、備品の購入や工事の実施内容等、補助事業の実施内容について記載)

	グラムでは2種類の飲み比べを実施する。最大10名に体験を提供する事から、見本とあわせて急須及び湯呑を22個購入し、急須や湯呑を載せるためのトレイも購入する。 ・体験を実施するためのテーブルがないため、高付加価値の体験にふさわしいテーブルを購入する。 ・インバウンドに対応するため、翻訳機を購入する。 また、2グループでの対応が考えられるため、数量は2個とする。		
7 本補助事業で実施するお茶ツーリズム体験プログラム (詳細)	(例) 【体験内容】 ・茶畑テラスでお茶の飲み比べ2種（○茶、○茶等） ・茶娘衣装体験（茶娘衣装を着用して、茶畑での写真撮影等を実施する） ・茶摘み体験（新茶時期） ・製茶工場見学 ・茶の製造過程の説明 【定員】 2～10名 【所要時間】 60分～90分 【その他】 ※悪天候時は一部内容を変更して実施する。		
8 プログラム提供価格 ※新規提供予定者は予定価格	1名あたり	8,000	円
9 本事業実施前の提供価格 ※既に提供している方のみ旧価格を記載	1名あたり		円
	新規提供の方は記載不要 交付決定（予定日）の10月30日以降で記載		
10 補助事業実施期間	事業着手（予定）日	2026年	11月 1日
	事業完了（予定）日	2026年	12月 31日
	完了日を記載		

11 補助対象外経費を含めた総額(税抜)を記載

12 上記 11 のうち、補助対象になる経費の総額を記載（茶農家 75 万円、製茶業者 150 万円以上の場合も、対象となる経費はすべて記載）

→様式第 3 号収支予算書中、2（1）「対象経費」の、「小計」の額を記載

11 総事業費（税抜）	765,363 円
12 補助対象経費（税抜）	765,363 円
13 プログラム提供時期	☐ 通年 ☒ 毎年 7月 ～ 3月 その他（ ）
14 事業実施後の目標（KPI）	・お茶ツーリズム体験プログラムの参加者数 年間 <u>300 人</u>
15 備考	

（注）変更事業計画書の場合は、変更前の計画を上段に括弧書きし、変更後の計画を下段に記載すること。

※必要に応じて、適宜写真の挿入やスペースを足して記載すること。

【参考：記載例】

茶農家（補助率 2/3）が総事業費 765,363 円（税抜）
（補助金 50 万円）の申請をする場合

様式第 3 号（第 7 条、第 10 条、第 12 条関係）

収支予算書の場合は、（変更収支予算書、
収支決算書）の記載を削除

収支予算書 ~~（変更収支予算書、収支決算書）~~

1 収入の部

（単位：円）

科 目	予 算 額	決 算 額	備考
市補助金	①……500,000		⑩×2/3（最大 50 万円）（千円未満切り捨て） ※製茶業者は 1/3 で計算
自己資金	②……341,900		
合 計	③……841,900		

2 支出の部

税抜価格で記載すること

収入の部③と、
支出の部⑫が一致すること

（1）事業全体経費

科 目	予 算 額	決 算 額	備考
対 象 経 費	備品購入費	④……115,363	収支予算書 次頁 ア～カ欄 それぞれの合計金額を記載
	役務費	⑤……	
	消耗品費	⑥……100,000	
	修繕費	⑦……550,000	
	工事請負費	⑧……	
	委託費	⑨……	
	小計	⑩……765,363	④～⑨の合計金額を記載 ※様式第 2 号事業計画書中、「12 補助対 象経費（税抜）」と一致すること
対 象 外 経 費	消費税	⑪…… 76,537	
			見積書記載の消費税額の合計を記載
合 計	⑫……841,900		

すべて税抜価格で記載すること

(2) 科目別内訳 (税抜)

ア 備品購入費

物品名が分かるように記載

内容・使途	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
翻訳機一式	2	50,000	100,000	
テーブル	1	15,363.6	15,363	
合 計			④……115,363	

イ 役務費

内容・使途	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
				該当なしの費目は記載不要
合 計			⑤……	

ウ 消耗品費

内容・使途	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
湯呑	22	1263.6	27,800	
急須	22	2,136.3	47,000	
トレー	12	2,100	25,200	
合 計			⑥……100,000	

エ 修繕費

内容・使途	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
トイレ改修工事一式	1	550,000	550,000	
合 計			⑦……550,000	

オ 工事請負費

内容・使途	数量	単価 (円)	金額 (円)	備考
合 計			⑧……	

カ 委託費

内容・使途	数量	単価（円）	金額（円）	備考
合 計			⑨……	

その他

複数購入物等がある場合は、適宜行を増やして記載すること

事業実施場所説明図

工事を実施する場所がわかる全体図及び該当箇所を記載すること。

図や画像で工事実施場所等をわかりやすく記載



様式第5号（第7条関係）

誓約書

私は、静岡市お茶ツーリズム体験プログラム高付加価値化補助金の交付申請に当たり、下記のとおり誓約します。また、この誓約に反していることが判明した場合は、補助金の申請を取り下げ、補助金の返還等に応じるとともに、不正受給が明らかとなった場合には、当方の事業者名、屋号・雅号、氏名等の情報が公表されることに同意します。また、誓約に反したことにより生じた損害については、当方が一切の責任を負うものとします。

記

- 1 静岡市お茶ツーリズム体験プログラム高付加価値化補助金交付要綱第3条の要件を全て満たしています。また、申請書及び提出書類の内容に虚偽や不正はありません。
- 2 申請した経費については、消費税及び地方消費税、振込手数料並びに国、県、市その他の機関が行う補助金や給付金等を申請・受給している経費に該当しません。
- 3 申請日から3年以上継続して、市内でお茶ツーリズム体験プログラムの提供を行う意志があります。
- 4 公序良俗に反する事業は行っていません。
- 5 市税の滞納をしていません。また、市が本申請に当たり、必要に応じて市税の課税状況及び納付状況を調査すること（証明書の取得を含む。）に同意します。
- 6 補助事業の完了後、お茶ツーリズム体験プログラム利用者数や売上について静岡市への報告を3年間行います。

(宛先) 静岡市長

令和8年 10月 14日

申請日を記載

住所 〒000-0000 静岡市〇区〇〇
商号又は名称 〇〇農園
代表者職氏名 静岡 太郎

日付及び住所等は、様式第1号交付申請書の記載内容と同一内容を記載
(法人の方は役職も記載)

様式第6号（第7条関係）

暴力団排除に関する誓約書兼同意書

私（当法人）は、補助金の申請をするにあたり、役員等（個人の場合はその者、法人の場合は法人の業務を執行する社員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいい、個人事業者にあってはその者及びその事業所の支配人をいう。）が下記に該当しないこと、また補助金の利用に当たっては、下記に該当するものを排除することを誓約します。

この誓約が虚偽であり、又はこの誓約に反したことにより、不利益を被ることになっても、異議は一切申し立てません。

また、下記に該当しないことを確認するため、役員等氏名一覧等必要書類の提出を求められたときは、ただちに提出します。

この誓約書及び静岡市から提出を求められた書類の内容について、静岡市が警察当局へ情報提供することに同意します。

記

- 1 暴力団員等（静岡市暴力団排除条例（平成25年静岡市条例第11号）第2条第3号に規定する暴力団員等をいう。以下同じ。）又は暴力団員（同条第2号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）の配偶者（暴力団員と生計を一にする配偶者で、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。以下同じ。）であると認められるもの
- 2 暴力団（静岡市暴力団排除条例第2条第1号に規定する暴力団をいう。以下同じ）、暴力団員等又は暴力団員の配偶者が経営に実質的に関与していると認められるもの
- 3 自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団、暴力団員等又は暴力団員の配偶者を利用するなどしたと認められるもの
- 4 暴力団、暴力団員等又は暴力団員の配偶者に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるもの
- 5 暴力団、暴力団員等又は暴力団員の配偶者と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるもの

（宛先） 静 岡 市 長

申請日を記載

令和8年 10月 14日

住所 〒000-0000 静岡市〇区〇〇

日付及び住所等は、様式第1号交付
申請書の記載内容と同一内容を記載
(法人の方は役職も記載)

商号又は名称 〇〇農園
代表者職氏名 静岡 太郎

別紙

商号又は名称 〇〇農園

役員等氏名一覧

氏名 カナ	氏名 漢字	生年月日 (大正 T、昭和 S、平成 H、令和 R)
シズオカ タロウ	静岡 太郎	S60. 4. 1
個人事業主の方は申請者の名前を記載		
団体や法人の場合は、履歴全部事項証明書に記載のある役員の一覧を記載		

(注)

上記に記載された個人情報については、暴力団員等の該当性の確認にのみ使用し、その他の目的には一切使用しません。また、その取扱いについては、個人情報の保護に関する法律を遵守し、適正に管理します。